

狂言

棒縛ぼうしやく

茂山茂

仕舞

笠之段

杉浦豊彦

笹之段

山本章弘

鶉之段

波多野晋



能

熊坂

山本麗晃

くまざか

令和2年4月4日(土) 13時開演(12時開場)

4月のたにまち能

能

賀茂

かも

山下あさの



主催/公益財団法人 山本能楽堂

国登録有形文化財 山本能楽堂 公式ホームページ <http://noh-theater.com>

入場券 一般券 5,500円 学生券 3,000円 観劇割引券(4回分) 20,000円

お問い合わせ 山本能楽堂/Tel 06-6943-9454 FAX 06-6942-5744 e-mail ticket@noh-theater.com

13時始

能「賀茂」

前シテ(里女) 山下あさの
後シテ(別雷神) ツレ(里女) 前田 和子
ツレ(天女) 河村浩太郎
ワキ(室の明神の神職) 広谷 和夫
ワキツレ(使者) 喜多 雅人
ワキツレ(使者) 是 正彦
間(賀茂明神の末社の神) 井口 竜也

笛 貞光 訓義
小鼓 成田 奏
大鼓 森山 泰幸
太鼓 中田 弘美
後見 山本 順之
今村 寛子
地謡 松浦信一郎
山本 博通
森本 哲郎
今村 一夫
水田 雄晴
山田 薫

播州室の明神の神主とその従者が、本社である郡の賀茂明神(下賀茂社)に参詣すると、賀茂川のほとりに自羽の矢を立てた祭壇が祭壇が設えられている。そこに、神に手向けの水を汲みに里女と侍女がやってきて、その水をめぐる別雷神の神の誕生の物語を語り、水を汲む。室の神主が里女の素性を尋ねると、大君を守護している神とだけ答えて、祭壇の裏に消える。里女たちと入れ替わり現れた賀茂の末社の神が、あらためて賀茂明神の由来を語り、御代の安寧をこそほぐ舞を舞って退場すると、そこに、賀茂の天女が登場し、御代を賀美して舞う。ついで、別雷神の神が現れ、王城守護と君臣の道を正すことを誓って舞い、雷鳴とともに雷を降らせて、五穀の豊饒を予祝するのだった。

休憩 15 分

狂言「棒縛」

シテ(太郎冠者) 茂山 茂 後見 山下 守之
アテ(主) 松本 薫
シテ(次郎冠者) 茂山千五郎

召使いの太郎冠者と次郎冠者が自分の留守中に酒を飲み飲んでいると知った主人は、一計を案じて、まんまと太郎冠者を棒に縛り付け、次郎冠者を後手に縛って出かける。縛られて雨に果てる二人だが、手の先が動くに気が付き、何と酒を飲もうとするが――。
棒は刀物を持つことを許されなかった下人身分の者の武器であり、その辺りから冠者が使用する武器とする発想により作られた狂言ではないかといわれている。

仕舞「笠之段」 杉浦 豊彦 「笹之段」 山本 章弘 「鵜之段」 波多野 晋

地謡 山本 博通 森本 哲郎 水田 雄晴 山下あさの

休憩 10 分

能「熊坂」

前シテ(僧) 山本 薫晃
後シテ(熊坂の姫) 喜多 雅人
ワキ(旅僧) 関(里人) 山下 守之
笛 鶴矢 亮
小鼓 林 大和
大鼓 守家 由朗
太鼓 井上 敬介

後見 杉浦 豊彦
河村浩太郎
地謡 山本 章弘
波多野 晋
今村 一夫
水田 雄晴
前田 和子
山田 薫

美濃の青野が原に通りかかった旅の僧を一人の僧が呼止め、今日は或人の命目であるから弔ってほしいという。どこそこ影のある僧に、案内された庵室には仏像・仏具はなく、大長刀、金の棒等武器ばかりという殺風景。しかし主は、この辺りの物騒、不遇な夜盗の出没に、自分も人のために一と働きするなどと語り、庵室に入ると見て庵室は松屋と化す。旅僧の夢に、盗賊の頭領無頼が現れ、牛若丸のために散々に散れし金売り吉次の赤坂の宿の夜襲の有様を語り、語っている。世の悪党も、仏法の慈悲にはもれず、救いを求める姿はあはれである。(解説:山本義興)

終了予定 16 時頃

※前可なり観劇、観客は観劇後、後見等などに感謝いたしますので、ご遠慮下さいませようお願いいたします。

チケット取扱い・お問合せ

山本能楽堂 TEL.06-6943-9454 FAX.06-6942-5744

山本能楽堂公式ホームページ <http://noh-theater.com>

主催:公益財団法人 山本能楽堂

中大江公園桜下能 **EXTRA** 4月4日(土)
11時30分より12時まで

山本能楽堂の近くの中大江公園の桜の下でお能の公演をさせていただきます。
よろしければお出かけくださいませ。

次回の たにまちな能

令和2年 9月6日(日)

13時開演

素謡「融」 今村 一夫
狂言「棒 水」 茂山七三三
能「野 宮」 山本 博通

WeNoh!
能楽室内の無料アプリ
能楽を気軽に楽しもう!

QRコード

iOS Android

